



## 2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年4月24日

上場会社名 株式会社キングジム  
コード番号 7962

上場取引所 東

URL https://www.kingjim.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 美代子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 兼 CFO (氏名) 原田 伸一 (TEL) 03-3864-5883

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年6月期第3四半期の連結業績(2025年6月21日~2026年3月20日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	27,901	△3.1	522	35.2	789	10.4	348	△10.3
2025年6月期第3四半期	28,781	0.7	386	-	715	-	388	-

(注) 包括利益 2026年6月期第3四半期 1,558百万円(391.9%) 2025年6月期第3四半期 316百万円(△6.0%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2026年6月期第3四半期	12	39	12	34
2025年6月期第3四半期	13	83	13	77

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
2026年6月期第3四半期	38,839		25,245		64.8	893	41	
2025年6月期	35,513		24,052		67.5	852	06	

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 25,158百万円 2025年6月期 23,965百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2025年6月期	-	7.00	-	7.00	14.00	
2026年6月期	-	7.00	-			
2026年6月期(予想)				7.00	14.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年6月21日~2026年6月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	40,500	2.2	1,000	86.0	1,200	43.5	650	53.0	23	11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年6月期3Q	31,459,692株	2025年6月期	31,459,692株
② 期末自己株式数	2026年6月期3Q	3,299,537株	2025年6月期	3,333,516株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年6月期3Q	28,141,983株	2025年6月期3Q	28,108,838株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料は、本日、当社ウェブサイトに掲載する予定です。  
決算補足説明資料 <https://www.kingjim.co.jp/ir/library/tansin.html>

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・賃金の改善やインバウンド需要の増加等を背景に内需拡大が継続するとともに、円安を受けて輸出関連企業を中心に引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、日中関係の緊張化や米国による通商政策の影響、中東情勢の緊張化により世界経済の下振れが懸念されているだけでなく、原材料費や人件費の高騰により消費者物価の上昇が続いており、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況のもと、「社会の変化の波をチャンスと捉え新たな成長へ」をテーマに掲げ、第11次中期経営計画(2025年6月期から2027年6月期)の目標達成に向けた取り組みを実行し、既存ビジネスを強化しながら、「サービス事業への展開」「ライフスタイル分野の拡大」「海外事業の強化」の3つの骨太の方針を引き続き遂行してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は279億186万円(前年同期比3.1%減)となりました。利益面では、売上総利益率の改善(前年同期比0.2ポイント増)と販売費及び一般管理費率の改善(前年同期比0.3ポイント減)により、営業利益は5億2,296万円(前年同期比35.2%増)、経常利益は7億8,984万円(前年同期比10.4%増)、海外生産系子会社で過年度法人税等の計上など税金費用の増加もあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億4,873万円(前年同期比10.3%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ① 文具事務用品事業

「テブラ」本体などの電子製品の売上減、防災用品については、前年上期に特需的な需要増があった反動による売上減などにより、売上高は178億6,547万円(前年同期比1.9%減)となりました。利益面では、売上総利益率の改善や販売管理費率の減少等により、営業利益は2億7,971万円(前年同期比7.9%増)となりました。

各領域の主な内容は、以下のとおりであります。

「テブラ」では、現場向けにより役立つPC/スマートフォン専用の新型モデル、「テブラ」PRO SR-R5600Pを発売いたしました。本機は発売から10年以上にわたって親しまれてきたロングセラー商品(「テブラ」PRO SR5500P)を、さらに使いやすく、現場のニーズに応える仕様へとリニューアルしたモデルで、乾電池駆動に対応し、電源の確保が難しい製造現場や倉庫などでもコードレスで使用できます。また、さまざまな「機能性テープ」の利便性を訴求する全3編のWeb CMを公開いたしました。これに合わせて、販売パートナー各社との協働企画や「テブラ」店頭陳列コンテストなど、各種販促活動を実施いたしました。テープの活用シーン拡大を目的とした販売施策の効果により、「テブラ」テープの売上は堅調に推移しました。一方で、2025年1月に発売した「テブラ」PRO SR-R560は市場への浸透が想定よりも進まず、「テブラ」本体の売上は低調となりました。

オフィス・生活環境用品では、近年の自然災害のリスクの高まりを受け、2025年8月に防災ブランド『KOKOBO(ココボ)』を立ち上げました。『KOKOBO』は、日々の生活に溶け込み、無理なく取り入れられる“日常に寄り添った防災”をコンセプトにした防災ブランドです。2025年10月に「縦横使える防災テント」、「屋根が開く防災テント」、「自動で膨らむ防災マット」を発売し、官公庁を中心に導入されていますが、特需的な需要増があった前年同期の売上には及びませんでした。このほか、学生の勉強の効率化や社会人の学び直しが増えたことから、左右独立したクリップで厚みのある本もしっかり固定でき、クリップを取り外さずにページがめくれる、折りたたみブッククリップ「ツイップ」を発売いたしました。

ステーショナリーでは、中央大学および京都芸術大学との産学連携プロジェクトにより開発された「ポーズー」ペンクリップを2025年10月に発売いたしました。「ポーズー」シリーズは、2022年6月の発売以来、見た目の愛らしさと高い機能性で人気のぬいぐるみポーチで、その第4弾に当たるペンクリップは「今までにない学びのグッズ」をテーマに開発いたしました。また、(株)大創産業が運営する「Standard Products」との初のコラボレーションを実現しました。両社が共同開発した多機能で使いやすいファイル、マグネットケース、クリップボードなど全13種のアイテムを、全国の「Standard Products」店舗にて発売いたしました。このほか、さまざまな情報をスマートに管理できる、ノートとファイルの機能が一つになった新しいコンセプトのノート「ファイリングノート」を発売いたしました。

EC事業では、自社商品直販サイトにおいては、新商品の予約受注およびECオリジナル商品の積極的な投入により、売上が伸びました。ラチュナ事業においても、新商品を投入し売上の拡大に努めました。

海外事業では、事業全体の売上が大幅に伸びました。第11次中期経営計画では、海外事業戦略の最重要地域として、中国およびベトナムを中心としたASEAN諸国を位置付けております。中国では、オリジナルブランド「可麗塔(クリータ)」シリーズの新製品投入に加え、トレンドを反映した「tOMOKO」シリーズのトートバッグ販売開始や、商社機能を活かした他社製品の取り扱い拡大などにより、売上が大きく伸びました。ベトナムでは、BtoB流通チャネルの深耕を進め、「テプラ」ならびに自社工場であるKINGJIM(VIETNAM)Co.,Ltd.で生産した事務用ファイルの拡販に注力しております。

(注)「可麗塔(クリータ)」には中国語簡体字を含んでいるため、日本語常用漢字で代用しております。

## ② ライフスタイル用品事業

㈱ラドンナの売上は好調でしたが、㈱ぼん家具とライフオンプロダクツ㈱が低調に推移したため、売上高は100億3,638万円(前年同期比5.0%減)となりました。利益面では、売上原価率の改善や販売管理費の減少等により、営業利益は2億3,598万円(前年同期比107.0%増)となりました。

各子会社の主な内容は、以下のとおりであります。

㈱ぼん家具は、家具EC業界における競争激化や原価高騰を背景に、依然として厳しい事業環境が続いています。グループで好調なToffyブランドとしてリブランディングを実施した若年層向けの「Toffy×PUTUPUTU」コレクションやおままごとキッチンが好調に推移したものの、主力の収納用品が低調に推移したため、全体では減収となりました。利益面では、値引販売の抑制により売上総利益率が回復し、合わせて広告宣伝費の最適化や在庫削減による保管料削減など、販売管理費の圧縮により赤字幅は縮小しました。

㈱ラドンナでは主力のキッチンカテゴリーで好調な電子レンジ用調理器やキッチン家電などが貢献し、季節商材も好調に推移したことにより、売上は増収となりました。利益についても売上総利益率の改善および販管費の抑制により改善し増益となっています。

ライフオンプロダクツ㈱では、冬物家電の拡販に注力いたしました。暖冬傾向の影響により、蓄熱式湯たんぽや充電式カイロなど冬物商材の販売が振るわず、減収となりました。利益面では、売上高の減少が影響し減益となりました。

㈱アスカ商会では、定番の花類が引き続き好調でした。グリーン類の大型装飾案件の獲得や、観葉類のオフィス装飾需要の取り込みも成功し、いずれも好調に推移したことで増収増益となりました。

ウインセス㈱では、主要顧客である半導体・エレクトロニクス産業向け商品のクリーニンググローブや周辺作業用手袋の需要が堅調に推移し、円安の影響があるものの、売上増に加えて前期後半の値上げ効果により増収増益となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して、33億2,670万円増加し、388億3,987万円となりました。これは主に、投資有価証券や商品及び製品が増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して、21億3,324万円増加し、135億9,412万円となりました。これは主に、運転資金需要等として短期借入金が増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して、11億9,346万円増加し、252億4,574万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年1月23日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,831,528	7,398,912
受取手形	226,669	216,239
売掛金	5,159,478	5,232,014
商品及び製品	9,700,866	10,790,147
仕掛品	301,213	339,412
原材料及び貯蔵品	1,190,668	1,305,757
その他	653,503	802,302
貸倒引当金	△484	△934
流動資産合計	24,063,443	26,083,852
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,196,545	6,442,472
減価償却累計額	△4,306,709	△4,458,457
建物及び構築物(純額)	1,889,836	1,984,014
機械装置及び運搬具	3,517,938	3,809,659
減価償却累計額	△3,221,779	△3,540,312
機械装置及び運搬具(純額)	296,158	269,347
土地	1,570,022	1,570,022
建設仮勘定	56,104	30,095
その他	3,172,541	3,254,191
減価償却累計額	△2,873,047	△2,940,799
その他(純額)	299,493	313,392
有形固定資産合計	4,111,615	4,166,872
無形固定資産		
のれん	739,574	616,312
その他	1,084,655	1,102,884
無形固定資産合計	1,824,230	1,719,196
投資その他の資産		
投資有価証券	2,977,800	4,222,112
退職給付に係る資産	1,866,257	1,961,696
繰延税金資産	183,265	188,795
その他	487,753	499,259
貸倒引当金	△1,199	△1,914
投資その他の資産合計	5,513,877	6,869,949
固定資産合計	11,449,723	12,756,019
資産合計	35,513,167	38,839,871

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,140,419	1,296,677
短期借入金	4,540,000	6,230,000
1年内返済予定の長期借入金	437,806	600,003
未払法人税等	254,476	143,933
未払金	759,464	757,274
契約負債	31,342	42,911
役員賞与引当金	6,222	10,893
株主優待引当金	37,532	6,064
その他	1,003,193	1,175,819
流動負債合計	8,210,456	10,263,576
固定負債		
長期借入金	1,300,482	864,986
繰延税金負債	948,343	1,381,994
退職給付に係る負債	515,723	567,411
資産除去債務	41,353	45,024
その他	444,518	471,129
固定負債合計	3,250,422	3,330,546
負債合計	11,460,879	13,594,122
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,978,690	1,978,690
資本剰余金	1,717,975	1,717,704
利益剰余金	21,593,605	21,547,117
自己株式	△2,947,298	△2,917,261
株主資本合計	22,342,973	22,326,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,085,534	1,937,246
繰延ヘッジ損益	921	3,292
為替換算調整勘定	420,742	816,265
退職給付に係る調整累計額	115,027	75,605
その他の包括利益累計額合計	1,622,226	2,832,409
新株予約権	87,088	87,088
純資産合計	24,052,288	25,245,749
負債純資産合計	35,513,167	38,839,871

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月21日 至 2025年3月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月21日 至 2026年3月20日)
売上高	28,781,813	27,901,861
売上原価	17,641,168	17,038,858
売上総利益	11,140,645	10,863,002
販売費及び一般管理費	10,753,875	10,340,033
営業利益	386,769	522,969
営業外収益		
受取利息	17,813	15,916
受取配当金	97,527	116,311
為替差益	70,542	76,355
受取賃貸料	112,447	112,423
その他	113,423	44,075
営業外収益合計	411,754	365,082
営業外費用		
支払利息	44,190	61,677
賃貸収入原価	35,034	34,980
その他	3,654	1,548
営業外費用合計	82,880	98,207
経常利益	715,643	789,843
特別利益		
固定資産売却益	—	1,216
特別利益合計	—	1,216
特別損失		
固定資産売却損	—	139
固定資産除却損	195	1,157
特別退職金	—	20,458
特別損失合計	195	21,755
税金等調整前四半期純利益	715,447	769,304
法人税、住民税及び事業税	251,226	246,710
法人税等調整額	70,574	49,479
過年度法人税等	4,925	124,375
法人税等合計	326,726	420,565
四半期純利益	388,721	348,739
親会社株主に帰属する四半期純利益	388,721	348,739

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月21日 至 2025年3月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月21日 至 2026年3月20日)
四半期純利益	388,721	348,739
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47,403	851,712
繰延ヘッジ損益	△6,350	2,371
為替換算調整勘定	△68,780	395,522
退職給付に係る調整額	△44,067	△39,422
その他の包括利益合計	△71,795	1,210,183
四半期包括利益	316,926	1,558,923
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	316,926	1,558,923

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月21日 至 2025年3月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月21日 至 2026年3月20日)
減価償却費	524,132千円	467,612千円
のれんの償却額	150,044千円	123,262千円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年6月21日 至 2025年3月20日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	文具事務用品 事業	ライフスタイル 用品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,211,987	10,569,826	28,781,813	—	28,781,813
セグメント間の内部売上高 又は振替高	70,391	226,372	296,763	△296,763	—
計	18,282,378	10,796,198	29,078,577	△296,763	28,781,813
セグメント利益	259,176	114,018	373,195	13,574	386,769

(注) 1. セグメント利益の調整額 13,574千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年6月21日 至 2026年3月20日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	文具事務用品 事業	ライフスタイル 用品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,865,478	10,036,383	27,901,861	—	27,901,861
セグメント間の内部売上高 又は振替高	110,938	97,696	208,634	△208,634	—
計	17,976,416	10,134,079	28,110,495	△208,634	27,901,861
セグメント利益	279,719	235,980	515,700	7,268	522,969

(注) 1. セグメント利益の調整額 7,268千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。